

## 今後の協会の動向を伺う —加藤事務局長

(財)日本健康・栄養食品協会  
事務局長

加藤 博



日頃より、食品保健指導士の皆様には、協会事業の運営にご理解ご協力をいただき御礼申し上げます。また、健康食品の適正な取り扱い等普及・啓発にご活躍のこととお慶び申し上げます。

### 協会、7月の役員改選で下田理事長に交代

さて、この度当協会は7月の役員改選におきまして、林裕造理事長から下田智久理事長へと交代いたしました。下田理事長は、厚生労働省健康局長時代に健康増進法を成立される等、当協会及び健康食品業界にとって縁の深い方だと思っております。なお、林裕造前理事長は、協会顧問として就任いたしました。

### 業界レベルアップのため、協会は公益財団法人の認定の準備

当協会は、一昨年12月に施行されました「いわゆる公益法人制度改革関連三法」(「一般社団・財団法人法」、「公益認定法」、「整備法」)に基づき、公益財団法人の認定を受けるべく準備を進めております。公益性の定義を、例えば「積極的に不特定多数の利益の実現を図っていること」とすると、事業者への恩恵はないのかとの話が聞こえてきそうですが、当協会は、JHFA、GMP、安全性自主点検それぞれの認証制度を推進しており、これにより健康食品業界全体のボトムアップとレベルアップを語り、健康食品業界の信頼性を向上することで結果として、健全な業界発展に寄与できるものと考えています。

### ニューJHFA制度について議論

また、前述のJHFA、GMP、安全性自主点検の各認証制度についても、今後それぞれのマークが表示されることで、消費者側からはさらにわかりにくくなることにもなるので、各認証制度が持つ意図、意義、仕組みを事業者だけ

でなく、消費者や行政等から見てもわかりやすい制度にする必要があります。その一つの考え方として、今後ニューJHFA制度について議論することとなっています。

### 消費者庁、機能性評価モデル事業として83百万円の予算計上、機能性表示の研究等

健康食品の安全性第三者認証制度が7月21日から申請受付を開始しました。8月末現在で約60品目の申請があり、9月上旬から審査が始まることとなっています。

また、消費者庁での「健康食品の表示に関する検討会」は、第11回をもって7月に終了しました。論点整理の概要としては、(1)消費者庁において早急に対応すべき方策と(2)消費者委員会において更に議論する必要がある制度的な課題に分け提言されています。

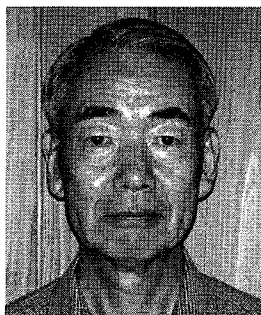
(1)については、①特保の表示許可制度として許可手続きの透明化、許可後に生じた科学的知見の収集、保健機能の適切な表示・広告の方法で、②健康食品の表示・広告規制として、虚偽・誇大な表示・広告規制の効果的執行、薬事法を含めた関係部局・団体との連携促進、一定の機能性表示を認める仕組みの研究となっています。

(2)は①特保の表示許可制度、②健康食品の表示の効果的な規制や適切な情報提供の仕組み、となっています。特に今回特筆すべきは、一定の機能性表示を認める仕組みの研究として食品の機能性評価モデル事業として83百万の予算が計上されたことです。今後当協会としてもわかりやすい表示制度に向け努力していきます。

食品保健指導士の皆様には、今後事業者と消費者の間で指導士としての役割を発揮する機会がさらに増えることと思います。皆様の益々のご活躍を祈念いたします。

# 指導士の仲間達

## 会 員 の 広 場



**松永 鷺生** 指導士

歴

1941 三重県尾鷲市出身  
1960 海上自衛隊 航空学生  
1967 民間航空機製造会社 (YS11)  
1970 民間定期航空会社 運航乗務員  
2001 定年退職

### 健康食品とは無関係の業界の方が どの様な動機で指導士に?

現役の頃、時差等の影響で健康維持の難しさ、大切さを痛感致しました。

定年を迎え、「食は命」が健康寿命に繋がると考え、栄養専門学校で学習の後、食品保健指導士の存在を知りました。

実績無き者の参加可否をJHFA事務局(斎藤様)に問い合わせた処、「志の有る者は拒まず」の暖かい助言を頂き、指導士資格を得ました。

### 放送大学での学習分野は?

生活科学コース(生活と福祉)専攻の健康生活に係る諸問題への理解を深める学習でした。

卒業研究「高齢者の望ましい健康食品摂取について」のテーマで学習し、関本会長の文献も参考にさせて頂きました。拙文を会長に御覧頂いた処、事務局の知る処になり、忸怩の思いです、特に指導士活動

に役立てようとの殊勝な気持ではありませんが、健康食品を理解し、活用出来るリテラシーを保持出来ればと願っています。

### 航空業界経験者から見て、 健康食品業界の課題を どの様に感じるか?

航空業の求めに安全運航維持の課題が有りますが、同様に健康食品業も安全な食品の品質維持が当たり前の課題として、確実に怠りなく行う事を共通の認識と感じます。

### 指導士会に何を期待するか?

指導士が相談を受け、指導する場が有って有意義な存在が示されると思っています。従って、少壮気鋭な指導士の参加や活動場所等のバック・アップを期待致します。

新  
しい仲間  
達

### 第16回食品保健指導士の終了評価認定試験 に合格し、指導士会に入会された皆様

有森 貴宏 指導士(東京都)	酒井 史彦 指導士(埼玉県)
阿竹 仁志 指導士(埼玉県)	庄野 英樹 指導士(岡山県)
三宅 史治 指導士(岡山県)	池嶋 保夫 指導士(岡山県)
大嶺 優希 指導士(東京都)	山本 芳子 指導士(福岡県)
田中 誠 指導士(東京都)	中川 守一 指導士(熊本県)
藤本 義人 指導士(岡山県)	川上 宏智 指導士(滋賀県)
天童 久美子 指導士(千葉県)	大橋 和也 指導士(東京都)
中嶋 亮太 指導士(愛知県)	嶋 順一郎 指導士(鹿児島県)
山野 均 指導士(福島県)	

どうぞよろしくお願い致します。

おめでとう  
(〇〇〇)

今回は「えっどうして指導士に?」と思わず聞き返してしまう経歴の持ち主「松永鷺生指導士」(実は国際線運航乗務員でした)と指導士の資格を活かし内科医院が母体の検診施設のサプリメントアドバイザーの仕事を得た「是枝明美指導士」のお二人をご紹介します。



## 是枝明美 指導士

●奈良県  
食品保険指導士  
肥満予防健康管理士  
ダイエットアドバイザー

### 現在のお仕事は何ですか?

「グランソール奈良」という施設で「オーダーメイドサプリメント」の営業とアドバイスの仕事をしております。

### 食品保健指導士になると 思ったきっかけは?

以前、ネットワークビジネスでサプリメントを扱っている中あまりにも多種多様なサプリメントがあり価格にも

格差がある中、はたして私はどんな基準で、どんな観点からサプリメントを飲み、人々に勧めたらいいのか疑問を持つようになりました。そんな頃、この食品保健指導士というサプリメントアドバイザーの講座を知り、受講しました。

### 食品保健指導士の資格を どのように活かされていますか?

以前より食品保健指導士資格をいかした仕事をしたいと思っていましたが、なかなかそんな機会に恵まれず、待つだけではいけないと思い地元、奈良のタウン紙に募集のあった「肥満予防健康管理士」の資格を取得しました。指導士の資格とコラボできたらいいと思って取得した結果2つの資格があることで、内科医院が母体である予防医学の観点からの施設である健診施設のスタッフとしてオーダーメイドサプリメント\*

の部門で仕事をするようになりました。やっと指導士の資格を活かす事ができました。

### 今後指導士会に 何を期待しますか?

確かに現在の仕事にもサプリメントへの考え方や扱い方など指導士の資格を取得するのに勉強した知識は役に立っているのですが、施設での仕事をすればするほど勉強や知識不足を痛感しているのも事実です。指導士会の勉強会などに参加したいと思っても、地方からはなかなか行けません。指導士会のレベルが高いがゆえに私には現実的じゃなかったり、理解できなかったりする事も多々あります。

食品保健指導士という資格の知名度を上げて欲しいと思います。そして、格式ある資格が活用できる場所をもっと多く紹介していただきたいと思っています。

\*「オーダーメイドサプリメント」とは、問診表と血液検査に基づいて医者、栄養士、薬剤師、健康管理士、食品保健指導士で本人に一番あったサプリメントを提案し、価格、内容に納得していただいて、提供するサプリメントです。

松永指導士、是枝指導士 ご協力ありがとうございました。益々のご活躍をお祈り致します。

## 会員の皆様

ご質問やご意見、要望、ブーイングその他何でもお問い合わせください。ご連絡先はホームページをご覧ください。IDを取得していない方はこの機会に是非登録してください。

指導士会の運営のお手伝いのできる方大歓迎です。地方の方もメールでお手伝いください。指導士会は変化します。さあ、みんなで行動を起こしましょう!

待っていても何も始まりません!!

<http://www.jfqao.jp/> (日本食品保健指導士会 HP)

## 新企画 第一弾

## 「ザ・素料」

## ■企業訪問

## キッコーマン食品株式会社

今回は紙面一新の新企画として健康食品を販売している企業の担当者から製品の企画から販売に至るまでの色々な話をお聞きしたく第一弾としてキッコーマン食品株式会社の商品企画担当の和泉氏と営業担当の永沢氏にインタビューさせて頂きました。

インタビュー●松山理恵子 幹事／新藤律子 指導士

## リソースを使った商品開発

**松山**●本日は大変お忙しい中、お時間を頂きありがとうございます。

早速ですが、お醤油の老舗としてのキッコーマンさんが健康食品の分野に手を広げられたきっかけはどのようなことからですか？

**キッコーマン／永沢**●そうですね。15年ぐらい前になりますか。当時抗酸化とかアンチエイジングとかのニーズが高まってきていて、キッコーマングループの中でのリソースを使った商品開発ができないかということになりました。皆さんもご存知のように、グループ会社に「ぶどう」を取り扱う、マンズワイン、「トマト」を取り扱う日本デルモンテがあります。基本的には我々が持っている原料とか技術を健康の分野に応用できないかということからスタートしました。

**新藤**●最初から若返りとかアンチエイジングに注目されていたんですね。キッコーマンさんの技術力、経験を生かした健康分野での強みというのはどんなことでしょうか？

**キッコーマン／和泉**●重複しますが、今日お話をさせていただく「グラ

ヴィノール」というぶどうの種子から取ったポリフェノールを健食素材で売り始めたのが本格的な参入の時期かと思います。

「グラヴィノール」というのは、食品添加物・酸化防止剤としての用途が考えられないかということで、スタートしたのですが、思った以上に強い抗酸化力を健食素材として展開できるのではないかと考え、97年に発売にいたったのです。

我々の強みというのは、山梨にマンズワインのワイナリーがあって、そこでも当然ワインを生産しているのですが、世界各地からワインを輸入・販売していますので、ワイナリーの情報も頂いてぶどうの種子を選別し、抗酸化力の強いプロアントシアニジンを豊富に含む最良の種子を選ぶことができるのが強みですかね。

## 原料と有効性へのこだわり

**松山**●抗酸化力や含有量も種子によって、違うんですね。

**キッコーマン／和泉**●そうです。ぶどうのポリフェノールの主成分であるプロアントシアニジンですがこれをい



かに効率的にとってくるか。抽出方法もありますし、元々の原料にプロアントシアニジンが豊富に含まれていないといけないのです。原料次第でかなり違うんですね。

**新藤**●「グラヴィノール」には最高級のプロアントシアニジンが入っているということですね。

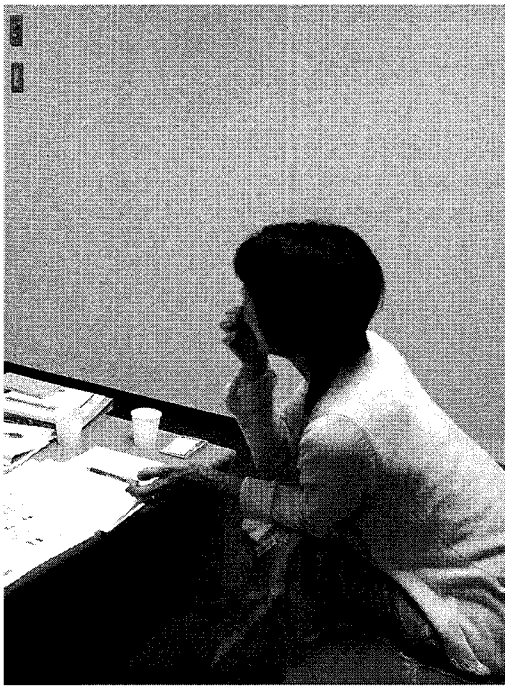
**キッコーマン／和泉**●はい。そこで抽出技術がマンズワインにはなかったため、キッコーマンの研究開発の方でどうやったら効率よく良質のプロアントシアニジンをとれるか研究し、製品化したわけです。

**キッコーマン／永沢**●安定供給できるというのも強みだと思います。

**新藤**●フレンチパドックスについておうかがいしたいのですが。

**キッコーマン／和泉**●あれは間違いのないと思っております。フランスでは、赤ワインによる動脈硬化予防の効果を示唆する成分として注目され、血管治療薬(医薬品)にも使用され有効性と安全性が認められています。

**松山**●現在、生活習慣病の予防やアンチエイジングのニーズはますます高まっているわけですが、どのよう



なニーズをもった方に合ったものですか？

**キッコーマン／和泉**●体内の抗酸化作用が強いので、動脈硬化などの予防にもなります。血流の改善効果、アンチエイジングは血管の老化からくるのが多いので期待は大きいと思います。デトックス効果(糞便消臭作用、腸内菌叢改善)も期待できます。また美白効果やストレスなども緩和できるということで、アンチエイジングにつながると思います。

### 大豆イソフラボンと3分の1の量で同様の効果のあるグルコサミンを開発

**新藤**●他に御社のお勧めの素材はありますか？

**キッコーマン／和泉**●イソフラボンです。弊社のリソースを使うという点で大豆の研究は昔からやってきてイソフラボンは女性ホルモン様作用があるということで臨床試験、安全性試験も含めていろいろデータをとっております。特に更年期障害緩和(ほてり、のぼせ)等の臨床試験もやっており、その効果を確認しています。

**キッコーマン／永沢**●トクホ商品の配合素材としてご採用頂いたメーカーさんもあります。

**キッコーマン／和泉**●あとアンチエイジングとしては、グルコサミンです。由来はエビ、カニです。通常のグルコサミンにアスコルビン酸と鉄を配合した設計にしてあるのが我々の素材の大きな特徴です。ロコモティブシンドロームといわれ始めている昨今、運動機能低下を予防する効果を期待しているわけですが、アスコルビン酸と鉄がコラーゲン合成を促進します(コラーゲン生成を促進する酵素を活性化)。もうひとつは他社さんですと1日のグルコサミンの有効量は1,500mgですが、我々の素材は500mgと1/3の量で同等の効果があります。他の成分も配合しやすい相乗効果も期待できます。

**松山**●それはうれしいですね。グルコサミンはあの量を飲むのが負担でしたから。他のサプリも摂ろうとすると手のひら一杯になりますから。

### それぞれのポリフェノールには、それぞれの効果がある

**キッコーマン／和泉**●他にアンチエイジングにはつながらないかもしれませんが、「トマトポリフェノール」

NGC(ナリンゲニンカルコン)、これは加工用トマトの皮にあるポリフェノールで抗アレルギー作用があり、花粉症の4大症状を緩和することを臨床試験で確認しました。他に「しょうゆ乳酸菌」など通年性アレルギー鼻炎の方の症状改善も臨床試験で確認しました。

**キッコーマン／永沢**●ポリフェノールってすごいですね。それぞれのポリフェノールにそれぞれの効果があります。世の中のでているもので、植物抽出物はポリフェノールが含有しているものが多いですね。しそ、大豆、クランベリー、ブルーベリー、フラバンジェノール、ルチン、玉ねぎetc……それぞれの作用に特徴があって、構造が違うので体内での分布も違います。

**松山**●まだまだお聞きしたい事もありますが、紙面の都合もあり是非また企画させて下さい。今日は貴重なお時間をありがとうございました。素材についても、キッコーマンさんについても新たな発見が沢山ありました。今後とも消費者の為のニーズに答えられますよう、お互いに情報交換をさせて頂きたいと思います。食品保健指導士会をどうぞ活用してください。ありがとうございました。

### 【キッコーマン食品株式会社ご担当者】



**和泉 亨氏**

プロダクトマネージャー室  
ヘルスケア食品グループ  
プロダクトマネージャー  
農学博士



**永沢 眞沙子氏**

健食営業部 参事  
薬剤師  
健康管理士  
サプリメントアドバイザー

# 超初心者のためのWeb講座

## メールの作法

### その②



携帯電話を含め、メールは現代人にとって無くてはならないツールになっています。大変便利な機能ですが、使うときにはちょっとした気遣いが必要です。困ったメールが良くあります。そんな事の無いようにポイントをいくつか挙げます。

#### 例1 内容のわからない件名

ひと目見ただけでメールの内容がわかる件名が望ましいです。そして自分の名前を含めることを忘れずに。「お世話になります」「よろしく願います」などのあいさつを添える人がいますが、これはNG。件名が長くなってしまえば、迷惑メールと勘違いされてしまうリスクがあります。

「お世話になっています」「お疲れ様です」「先日メールした件です」  
「確認をお願いします」「ご連絡させていただきました」  
「返信をお願いします」などの件名は使わない方が良いでしょう。

#### 例2 Reが数多く重なるメール(いつまでも同じ件名でやり取り)

元の件名をそのまま残し、自分の名前を添えましょう。やりとりを繰り返すと件名の頭に「RE」の文字が増えていくので、「RE」の文字は2つ以上にならないよう消すのがベストです。

#### 例3 長々と全てのやり取りを残したままのメール

返事を出すとき、相手のメールの原文を残しておく、出した手紙をそのまま返されたような不快感をもつ人も少なくありません。必要な部分以外削除するのがよいでしょう。ただし、やりとりの記録を残すべき案件もあり、元のメールの原文を残しておいた方がお互い理解しやすい場合もあります。このメールを受け取った相手はどんな印象を持つか、それを考えてメールを書くことが大切です。

#### 例4 むやみに開封確認を要求するメール

「メッセージの送信者は、開封確認を要請しています」などという表示が出る「開封確認」機能。こうしたメールを受け取っても送信しないという人が多い。

重要なメールでは、確認するための便利な機能ですが、何でもかんでも要求することはやめましょう。

#### 例5 誰から来たかわからないメール

用件だけを書いて、誰が出したかわからないメールがあります。何度かやり取りをしたことがあれば、メールアドレスから差出人がわかりますが、自分の名前を書くのは常識です。もし、いちいち書くのが面倒なら、署名を準備しておくのが便利です。

Outlook Expressでは、ツール▶オプション▶署名で署名を登録しておけます。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

阿部 真

例えば

〒162-0842  
東京都新宿区市谷砂土原町2丁目7-27  
財団法人 日本健康・栄養食品協会 総務部門  
教育研修担当内  
TEL:03-3268-3160 FAX:03-3263-3136  
携帯:090-\*\*\*\*-\*\*\*\*  
E-mail:info@jfqa.jp URL:http://www.jfqa.jp

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

などと作っておきます。仕事用とプライベート用を作っておき使い分けるといいですね。

#### 例6 あて先に何人ものアドレスを入れる

決まった少人数ならば問題ありませんが、中には他の人にアドレスを知られたくない人もいます。また、会社名のドメインなどの場合、個人が特定できる場合は、個人情報保護法に触れる可能性もあります。Bccを上手に利用しましょう。

#### 例7 容量の大きな添付ファイルを送る

最大でも2MBまでと考えましょう。また、容量が小さくとも数が多い場合も注意が必要です。圧縮ソフトを利用するなりして一つにまとめておきましょう。

どうしても大きなファイルを送りたい場合は、オンラインストレージサービスを利用しましょう。無料で100GBまで利用できるものもあります。

7つの例を書きましたが、全て、相手を思いやる気持ちがあれば解決する事です。

IT(インターネットテクノロジー)はコミュニケーションの道具です。例えば車のように、道具は使い方を間違えると危険なものにもなります。

また、メールのトラブルで意外に多いのが、を送った、送らないというもの。ウイルスソフトにより迷惑メールホルダに振り分けられている場合です。ソフトは万能ではありません。重要なメールがこちらに振り分けられていないか確認しましょう。

上手に使うってコミュニケーションの輪を広げていきましょう。

ごあいさつ

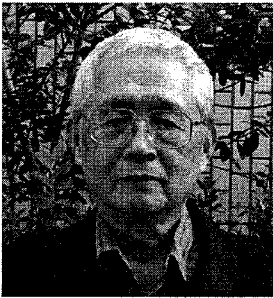
## ～編集委員会



## 松山 理恵子 幹事

この度、前事務局長の杉浦指導士よりバトンタッチされ、会報の編集をさせていただくことになりました。実際に取り組んでみて、杉浦指導士のご苦勞とご尽力に心から感謝のエールを贈らせていただきます。人は「経験」するために生まれてきたと信じています。成功は糧に失敗はバネに前進あるのみです。

21世紀は統合と協調の時代です。会員全員とキャッチボール型の会報誌を目指します。受け取って投げ返してください。初体験は何事もワクワク、ドキドキ、どうぞ温かい目で見守ってください。手弁当でご協力いただく編集委員のメンバーをご紹介します。



## 松田 暁忠 副会長

今年の4月から日本食品保健指導士会の幹事をさせて頂き、微力ではありますが、松山委員長のお手伝いをさせていただくことになりました。大手製薬会社から子会社の健康食品会社に出向し、約15年間健康食品の開発、健康食品素材に関する科学的根拠の調査、消費者への啓蒙活動等をやってきました。その中で薬との違いや自己責任病ともいえる生活習慣病の予防等に優れた機能を持つと確信いたしました。そのことを消費者や健康食品企業の方々とWINWINの関係が築けるよう、生みの親である日本健康・栄養食品協会のご援助を得ながら、実りある指導士会にいたしたいと思っております。皆様のご協力、忌憚ないご意見、ご希望をお待ちいたしております。



## 永島 昌和 指導士

松山編集委員長に誘われて、何となく編集委員になってしまいました。とは言っても、やるからには指導士会のお役に立てること、と同時に社会に貢献できることを微力ながらお手伝いさせていただきます。私は、この世界に身を投じて20年経ちます。指導士の資格は平成16年に取得しました。では、業界ならびに指導士に何が求められているのでしょうか？まずは消費者に対し「本当・本音の情報」を伝えることだと思っています。そら(株)代表、趣味：生涯ボクシング、読書、芸術鑑賞、酒・煙草は飲みません。



## 継田 治生 指導士

元々は全く別の世界で働いていたのですが、1980年代後半にアメリカで出会ったサプリメントに触発され10年前に会社を設立してこの世界に飛び込みました。まだまだわからないことだらけですが生涯勉強を覚悟し、栄養と運動で皆様の健康の少しでもお役にたてればと考えております。趣味はサッカーと合気道そして数年前に始めたジョギング。半世紀を過ぎた今も人間何歳まで球を蹴り続けられるのかをテーマに月に数回はサッカー、フットサルを続けております。

●●●● 次号はWeb委員会のメンバーをご紹介します。どうぞ期待!! ●●●●

# 支部活動レポート

Branch activity Report

## 千葉支部

吉池支部長 記

7月4日、日曜日14:00から、関本会長並びに杉浦指導士兩名の講師による勉強会が千葉市コミュニティーセンター会場にて予定通り行われました。

今回の参加者は計10名でしたが、午前中別の会の講師をされていた石井指導士も間に合い、皆様お忙しい中での勉強会となりました。

関本会長より「リスクコミュニケーションの理論と実際」として、世の中のさまざまなリスクへの対応策などを伺い、食品に関してはFOOD FADDISMなど健康食品が抱える諸問題についてわかりやすくお聞きしました。

また杉浦指導士による「最新のトクホ情報について」では問題になった「 $\alpha$ -リポ酸」に関する詳細な情報などもお聞きすることができ、東京か

ら参加の田中東京支部長、本部の松田幹事も貴重な情報に耳を立てておられました。

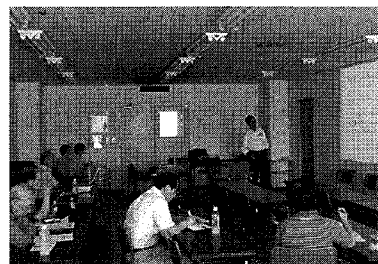
当日の参加者である小見川幹事よりの感想をご紹介します。

「めまぐるしく変わっていく中で、最近の情報が聴けたこと、とても勉強になりました。

特に思いましたのは、杉浦さんのメカニズムとトクホ商品の関連についてです。どのように効くのかということは、指導士として必須の情報だと思います。

今後とも是非、多くの情報を知る機会を作っていただけたらと思います。

また、昨今は携帯で自己管理をする時代でもあるため、「サプリメント選びのワンポイントアドバイス」としてホームページや携帯を使って広く一般



の方々情報が提供できると良いのではないかと考えています。」

終了後、別の会の講師であった加賀田指導士も参加して恒例の懇親会となり、最後は楽しい意見交換で盛り上がった千葉支部勉強会でありました。

## 東海支部

平成22年11月27日(土)、名古屋で開催予定の「平成22年度秋期研修会」を盛り上げようと、東海支部の柴田支部長の音頭で支部会員の皆さんが人員確保に奔走!!

## 近畿支部

平成22年10月16日(土)、大阪で開催された秋期研修会は池田副会長の指揮の下、近畿支部の坂口支部長を始め会員の指導士の皆さんの協力で大盛況にて無事終了致しました。参加者は神戸薬大から78名、指導士14名、総勢92名でした。内容は次号にてご紹介いたします。

# 東京支部

支部役員 尾川 記

## 第一回 東京支部勉強会

日時●平成22年7月22日(木)午後6時～午後8時  
場所●(財)日本健康・栄養食品協会 3階会議室  
テーマ●「長寿と健康食品」  
講師●山内 盛 先生  
参加者●34名

近年、平均寿命が延びたことにより、これまでにない高齢化社会を迎えようとしています。そんな中で寝たきりなど要介護状態の問題が大きく取り上げられるようになりました。疾病予防とともに健康食品等の利用を含めた「長寿と健康」が今後の課題とされています。

今回は、そんな昨今の話題にス

ポットをあて講演をして頂きました。

中国に古くから伝わる「薬食同源」思想に始まり日本における

薬の歴史・薬物利用・薬草などについて説明をして頂き、健康づくりの提言・食生活指針・食事のあり方について先生の体験も交えて色々お話を頂きました。食事・運動・精神の三位一体が健康維持に重要であることも再認識しました。中でも昔から日本に伝わる食材処理・調理の知恵(山菜等のアクを取る為の灰汁抜きや糠漬けなど)には、道理にかなったプラス文

化(ミネラルの補充など食材の特性を活かしたプラスα(アルファ)の食文化)があることなど、とても興味深く拝聴しました。

日ごろの食生活を含めた生活習慣について改めて考える良い機会となりました。

食品保健指導士の皆さん!! バランスの取れた食生活をしていますか?

「まごはやさしい」是非、実行しましょう!

[ま:豆類/ご:ごま/は:わかめ(海藻類)/や:野菜/さ:魚/し:しいたけ(キノコ類)/い:イモ類]

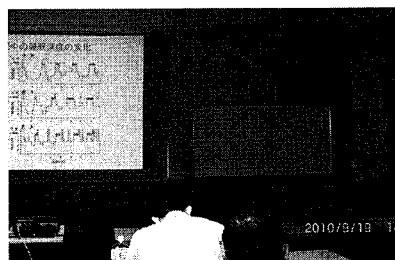


# 九州

今期中の立ち上げをめざし着々と準備!!

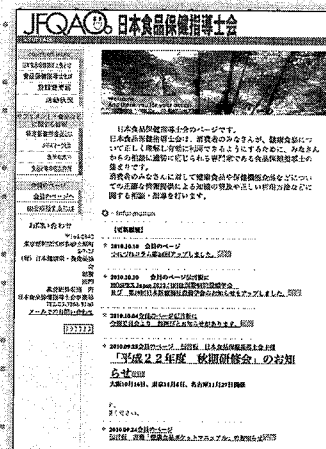
支部設立発起人の古泉幸子指導士が福岡で9月19日(日)第1回の研修会を企画。九州各地から18名が集まりました。

講師/九州大学健康科学センター教授・医学博士 上園 慶子 先生  
テーマ 健康科学における栄養学の役割



# 知らないと損する 更新 単位の取り方 制度

更新制度が発足以来、日本食品保健指導士会（以下、指導士会）宛に更新制度についていろいろとお問い合わせがありました。それをもとに、今回は更新制度について、会員の皆様疑問に思われていることをQ&Aとして解説いたしました。HPの伝言板のページ「協会からの制度更新に関する通知」と照らし合わせながら読んでいただくと、より分かり易いと思います。



## Q1 指導士の更新制度について、詳細を知りたいのですが？

指導士会のホームページに詳細が掲載されています（ただし、会員用）。このページに入るためには、会員のID、パスワードを申請する必要があります。あなたのメールアドレス（携帯アドレスは不可）、氏名、指導士登録番号を用意して、指導士会のトップページの左サイドにあるメニュー【会員のページ⇒IDを取得するには】よりお申し込みください。

## Q2 指導士の有効期間は何年間ですか？また、更新に際しては何単位が必要ですか？

指導士の有効期間は5年です。さらに資格を延長（更新）するためには、この5年の間に10単位以上（※）の単位を取得したうえで更新手続きをしなければなりません。

※12日間講習を受けた登録番号2002\*\*\*\*～20081\*\*\*の指導士は、特例処置として1回目の更新についてのみ6単位とします（2回目以降は10単位になります）。

## Q3 指導士会の会員は、単位の優遇処置があると聞きましたが？

指導士会の会費（1年分）を支払った会員の場合、それを1単位とみなす優遇処置があります。例えば、2009年度から2013年度まで会員だった方は5単位を取得したことになります。会費を納めたかどうかは指導士会で把握していますので、更新時には指導士会より日本健康・栄養食品協会（以下、協会）に報告致します。したがって、会費を納めていない年度の優遇処置は受けられないことになるので注意してください。

## Q4 過去の学会、研修会等の参加は単位になりますか？また、その証明はどうしたらいいですか？

更新制度が発足した2009年4月1日以降に参加したものは単位取得の対象になります。この場合、参加した際の参加証（受講証）や領収書等の控えが必要です。ただし、すべてが対象となるわけではありません。指導士会のホームページに、対象となる学会や研修会のリストが掲載されていますので、そちらをご覧ください。

※注：リストにないものは、指導士会もしくは協会にお問い合わせください。

また、指導士会と協会が、その対象と認めるセミナー・講演会等の講師を勤めた場合も単位とみなされます。この場合は依頼先からの依頼状など証明できるものを保管しておいてください。

なお、協会・指導士会が主催する研修会については出席者を把握していますので、証明の必要はありません。

※注：展示会等への来場、あるいは展示会での無料講座などは単位として認められません。

## Q5 取得単位については指導士会 もしくは協会で把握されていますか？

全ては把握できません。協会からの「制度導入に関する通知」にある内容を考慮して、指導士ご自身で判断するようにしてください。

※注：不明な点は、協会・指導士会宛に、お気軽にお問い合わせください。

## Q6 更新の手続きは どのようにするのですか？

更新となる年度当初に、協会から「更新手続きのガイドラインと申請用紙」が送られてきます。所定の期日までにその申請用紙に、取得単位の証明となる資料を添えて申請することになります。なお、更新手続き費用は2,100円です。

## Q7 単位となる学会や講習会の日程を事前を知る方法がありますか？

指導士会のホームページでは、単位となる学会、講習会等の予定を掲載しています。また、メールアドレスを登録していただいた会員には、ホームページの更新をメルマガでお知らせしています。さらに、毎月会員宛に送付している封入物の中でも、その都度、単位認定の対象となる講習会等のお知らせをしています。

## Q8 それ以外の学会、研修、勉強会、講演会等が 単位の対象になるのか、 また、何単位となるのかを知りたい時はどうするのですか？

指導士会のホームページ内にあるメールからご連絡いただくか、協会に直接お尋ねになってください。指導士が講演された場合でも、それが個人的な業務の範囲であれば単位の対象とはならない場合があります。

## Q9 地方に在住していると、 対象となる学会等も少なく単位取得が難しいことが多いのです。 通信教育やその他、便宜を図って頂けませんか？

現在、通信教育の予定はございませんが、単位として認められる東京、関西、東海等の研修会のビデオ、DVDを各支部での勉強会に利用していただき、取得単位にすることなどを検討中です。

## Q10 海外に赴任して 単位取得が出来なかった場合の処置は どうするのでしょうか？

指導士会もしくは協会に直接ご相談ください。

指導士会・協会へ  
のお問い合わせ先

TEL: 03-3268-3160

FAX: 03-3268-3136

E-mail: kensyu@jhnfa.org

### 墨田区料理研究会「さつき会」研修会

**開催日時** 8月9日(月) 10:00~12:00  
**場 所** (財)日本健康・栄養食品協会  
**内 容** 杉浦指導士の依頼により、26名の参加者で開催。始めに加藤事務局長の挨拶と協会の概要説明。続いて関本会長の講演があり、薬と食品の相互作用には、特に関心があったようです。最後に展示ルームを見学、数人の指導士が対応しました。



### 日本健康科学学会第26回学術大会(大会長 服部幸應先生)

**開 催** 8月19日(木)~20日(金)  
**会 場** 服部栄養専門学校

- 関本会長が学術大会の実行委員会運営担当で一般演題の座長を務められました。
- 岸本真弓幹事が「健康食品アドバイザースタッフの活動意識と関連する要因についての調査研究」というテーマで研究発表を行いました。
- 横山次郎指導士(日本農産工業㈱)は「ヨード卵卵黄の抽出脂成分の遺伝子発現に対する影響」についての研究発表でした。



岸本真弓幹事



横山次郎指導士

## 秋期研修会

### ◆ 東京会場

**開催日時** 11月6日(土) 14:00~16:00  
**講 演** 『将来の活躍の場を得るため食品保健指導士は今何を学び、何を準備すべきか』  
UBMメディア株式会社 代表取締役社長 牧野順一 先生

### ◆ 名古屋会場

**開催日時** 11月27日(土) 14:00~16:00  
**講 演** 『食品と医薬品の相互作用について』  
岐阜薬科大学教授・健康食品管理士認定協会副会長 平野和行 先生

● まだ申し込みをされてない方は、  
FAX、またはWebにてお願い致します。  
● 更新単位は1単位です。是非ご参加ください!!

